

〔 2 月号目次 〕

【松江堀川水環境協議会のホームページを開設しました！】	島根県河川課
【第二浜田ダム 試験湛水状況】	島根県河川課
【島根県中学生「水の作文コンクール」の作品を募集します！】	島根県河川課
【河川管理における藻刈船の活用】	松江市河川課

松江堀川水環境協議会のホームページを開設しました！ ～ 第 2 回松江堀川水環境協議会に報告～

河川課企画調査グループ

1. ホームページ開設

多様な汽水環境の保全・改善と、観光スポットである松江堀川の魅力アップを図るため、平成 27 年 7 月に島根県立宍道湖自然館ゴビウス、宍道湖漁業協同組合のアドバイザー、県および松江市の環境、観光、水産、教育、河川管理者の関係課で構成する「松江堀川水環境協議会（事務局：島根県河川課）」を設立し、ホームページを島根県土木部河川課内に開設しました。

来年度も、市民と協議会が連携して、実態の把握や啓発活動などを続けて行きます。

松江堀川水環境協議会ホームページの URL

<http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/link/index.html>



上図：松江堀川概要図



左写真：松江堀川（宇賀橋付近）

下写真：第 2 回松江堀川水環境協議会の様子



2. 第 2 回松江堀川水環境協議会の開催状況

【開催日時・場所】

平成 28 年 2 月 8 日（月）（県庁南庁舎：松江市殿町 8 番地）

【調査結果の目次】

【主な議事内容】

1. 今年度の活動報告について
2. 広報について
3. 来年度の活動計画（案）について

1. 調査の流れ
2. 仕掛け調査結果
3. 目視調査結果
4. 水質調査結果
5. 参加者の感想
6. アドバイザーからの感想

今年度の協議会で実施した「松江堀川生き物調査」の結果を、上記のとおりまとめています。詳しくは、協議会のホームページに掲載しています。

第二浜田ダム 試験湛水状況

～ 洪水時最高水位に到達しました (H28/1/31 22:00) ～

河川課河川開発室

平成27年10月6日からダム本体及び貯水池周辺地山の安全性を確認するため試験湛水を行ってきましたが、『平成28年1月31日 午後10時』に洪水調節のための最高水位である洪水時最高水位(標高104.6m)に到達しました。

今後は、試験湛水計画上の安全確認の水位(標高54.0m)まで貯水位を徐々に低下させ試験湛水を終了する予定です。



下流側よりダム堤体を撮影 (H28/2/1)



非常用洪水吐からの越流状況 (H28/2/1)



非常用洪水吐からの越流状況 (H28/2/1)



上流側より貯水池を撮影 (H28/2/1)



上流側より貯水池を撮影 (H28/2/1)



洪水時最高水位 - 8.04m (H28/1/3)



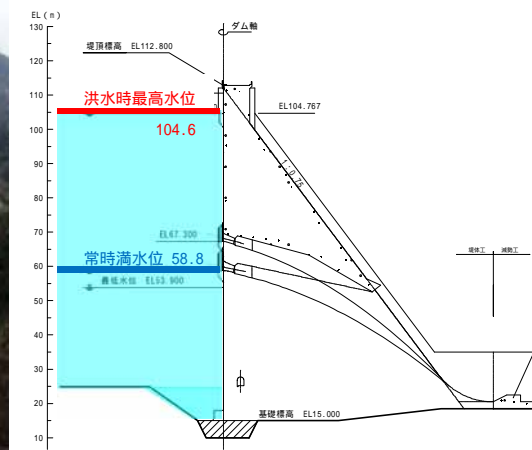
常時満水位の状況 (H27/11上旬)



試験湛水開始前の状況 (H27/9下旬)



洪水時最高水位時の空撮 (H28/2/1)



ダム諸元 本体ダム) 堤高: 97.8m 堤長: 218.0m 堤体積: 324,000m³ 総貯水容量: 15,470,000m³

鞍部ダム) 堤高: 27.8m 堤長: 202.5m 堤体積: 34,000m³

洪水時最高水位とは・・・洪水時に一時的に貯水池に貯めることが出来る最高の水位

島根県中学生「水の作文コンクール」の作品を募集します！

河川課管理グループ

私たちが生きていくうえで欠かせない「水」の貴重さ、重要性について理解を深めるため、国では毎年8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」と定め、様々な行事が全国で催されます。

島根県では、次代を担う中学生を対象に“平成28年度 島根県中学生「水の作文コンクール」”を実施します。

- (1) テーマ 水について考える（題目は自由）
例えば...「水の大切さ」、「私たちの暮らしと水」など
- (2) 対象 中学生（平成28年度に島根県内の中学校に在学中の者）
- (3) 原稿枚数 400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記
本文の前（原稿用紙枠内）に題名、学校名（ふりがな）、
学年、氏名（ふりがな）を明記してください
- (4) 募集期間 平成28年3月7日（月）～平成28年5月20日（金）
当日消印有効
- (5) 送付先 〒690-8501 松江市殿町1番地
島根県土木部河川課管理グループ
TEL0852-22-5499 / FAX0852-22-5681
- (6) 表彰・副賞等 最優秀賞 1点（表彰状、副賞：図書カード3,000円）
優秀賞 3点（表彰状、副賞：図書カード2,000円）



入賞作品のうち、特に優秀と認める作品については、国土交通省主催の第38回「全日本中学生水の作文コンクール」に推薦します。

私たちが毎日何気なく使っている水は、飲み水、川や海などでのレジャー、水力発電などとして利用されている一方、豪雨などにより洪水や土石流などの災害を引き起こす一面もあるなど、さまざまな顔をもっています。

この機会に私たちの暮らしに深く関わっている水について考えてみませんか？

平成27年度の実賞作品は河川課ホームページに掲載しています。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/contest/H27sakubunnnyuusyoku.html>

クイズ！水に関する漢字

Q：何と読む？

「**澗**」

ヒント！

川の流れの中で、水が深く流れが
緩やかなところのこと

解答は最終ページ

河川管理における藻刈船の活用

松江市都市整備部河川課

1. 背景

毎年、松江市内の河川では夏頃になると水草（藻等）が大量に発生しています。この水草（藻等）は少量であれば問題ありませんが、繁茂すると、浮遊ゴミの漂着・悪臭の発生・航行する船舶への支障等が生じ、様々な通報・苦情が住民の方々から多く寄せられます。松江市では、この問題に対して人力での刈取り、藻刈機の購入など様々な対策を講じています。

2. 大型藻刈船の導入

水草（藻）を除去する際に主力であった平成10年度に購入した藻刈機が経年劣化により稼働不可能になったことから、平成25年度に新たに大型・高性能の藻刈船を購入しました。これにより、作業効率は大幅に向上しています。

しかしながら、「松江堀川めぐり（堀川遊覧）」を行っている国宝松江城周囲の松江堀川は、川幅が狭く、水面から非常に低い橋梁が多数あるため、この大型藻刈船を使用する事が出来ませんでした。



大型藻刈船作業状況

3. 小型藻刈船の開発・導入

松江堀川では従前通りに人力作業による藻刈を行っていましたが、水草（藻等）の大量発生が続き、作業の効率化を図るため松江堀川でも使用可能な藻刈船の購入を検討しました。しかし、松江堀川で藻刈船による作業を実施するためには、「松江堀川めぐり（堀川遊覧）」の運航へ支障が無いこと、川幅が狭く、低い橋梁があっても航行できることなど、多くの制限があることから、この諸条件に適合する藻刈船がありませんでした。

そこで、平成25年度に松江市産業観光部まつえ産業支援センターで行っている事業の「まつえ製品開発チャレンジ支援事業」制度を利用し、松江市内の企業が松江堀川で使用できる小型藻刈船の開発をする事になりました。その後、幾度もの協議・試験運行を経て製品化し、平成27年度に本格稼働しています。



小型藻刈船作業状況

4. 現在の活用状況等

現在は、両藻刈船のお互いの特徴を生かし様々な河川で使用しています。平成27年度は国土交通省出雲河川事務所へ貸し出しを行い、国交省管理の河川でも藻刈作業を実施しました。

今後も藻刈船のより良い活用方法を検討して、国・県・市・住民の枠を超えた松江市全体の河川管理体制を構築していきたいと考えています。

【編集後記】河川課 企画調査グループ 杉谷亮太

今号は、「松江堀川水環境協議会」のホームページ開設を掲載しています。このホームページや「しまねの河川と海岸だより」を通じて、河川環境などへの興味をより深めていただければ幸いです。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>

クイズ！水に関する漢字（解答）

A :

「とろ」（どろ）